

◀ ● ● ● ● ● ● ● ▶

広島修道大学

2013年 商学部 第1問

数理
石井K

1 空欄 1 から 11 にあてはまる数値または式を記入せよ。

{4, 8, 16, 20, 28}

(1) 30以下の自然数の集合を全体集合 U とし、 U の部分集合で3の倍数の集合を A 、 U の部分集合で4の倍数の集合を B とする。このとき、要素を書き並べる方法で表すと、 $A \cap B =$ 1、 $\bar{A} \cap B =$ 2 である。

{12, 24}

(2) 3個の数字0, 1, 2を、重複を許して並べてできる5桁の整数は 3 個ある。そのうち、0, 1, 2の3個の数字がすべて使われている整数は 4 個ある。

162

(3) 関数 $y = \sin x \cos x$ ($0 \leq x \leq \pi$) の最小値は 5 であり、関数 $y = \sin\left(x + \frac{2}{3}\pi\right)$ ($0 \leq x \leq \pi$) の最大値は 6 である。

 $\frac{\sqrt{3}}{2}$
 $-\frac{1}{2}$

(4) 円 $(x-a)^2 + y^2 = 4$ と直線 $y = x - \frac{a}{2}$ が接するとき、定数 a の値は $a =$ 7 または $a =$ 8 である。

 $4\sqrt{2}$
 $-4\sqrt{2}$

(5) 不等式 $9^{x+\frac{1}{2}} - 10 \cdot 3^x + 3 \leq 0$ の解は 9 である。

 $-1 \leq x \leq 1$

(6) 方程式 $\frac{1}{2}x^3 + mx + n = 0$ の解の1つが $-1 - \sqrt{3}i$ のとき、実数 m, n の値は $m =$ 10、 $n =$ 11 である。

0
-4

(1) $A = \{3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30\}$ 、 $B = \{4, 8, 12, 16, 20, 24, 28\}$ より。

$$\underline{A \cap B = \{12, 24\}} \quad \underline{\bar{A} \cap B = \{4, 8, 16, 20, 28\}}$$

(2) 先頭は1, 2, 1位の桁は0, 1, 2より。 $2 \cdot 3^4 =$ 162 個

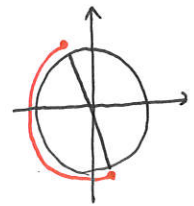
1位の数字から成るものは2個、2位の数字から成るものは、 $2^4 + 2^4 - 2 + 2^5 - 2 = 60$ 個

種類
種類

$$\therefore 162 - 2 - 60 = \underline{100 \text{ 個}}$$

(3) $y = \frac{1}{2} \sin 2x$ ($0 \leq 2x \leq 2\pi$) \therefore 最小値は $-\frac{1}{2}$

$$y = \sin\left(x + \frac{2}{3}\pi\right) \quad \left(\frac{2}{3}\pi \leq x + \frac{2}{3}\pi \leq \frac{5}{3}\pi\right) \therefore \underline{\text{最大値は } \frac{\sqrt{3}}{2}}$$



(4) 円の中心は $(a, 0)$ であるから点と直線の判別式より、 $\frac{|a - 0 - \frac{a}{2}|}{\sqrt{1+1}} = 2$ (半径)

$$\therefore \underline{a = 4\sqrt{2} \text{ または } a = -4\sqrt{2}}$$

(5) 両辺3で割り、 $(3^x)^2 - \frac{10}{3} \cdot 3^x + 1 \leq 0 \quad \therefore \frac{1}{3} \leq 3^x \leq 3 \quad \therefore \underline{-1 \leq x \leq 1}$

(6) 実数係数の方程式より、 $x = -1 + \sqrt{3}i$ も解となる。

解と係数の関係より、 $(-1 - \sqrt{3}i) + (-1 + \sqrt{3}i) + r = 0 \quad \therefore r = 2$ (略)

$$\therefore \underline{m = 0, n = -4}$$